



 【紀の国わかやま国体・大会 きいちゃん】
 ユーザー名: @kiichann2015
 【紀の国わかやま国体・大会】
<https://www.facebook.com/wakayama2015.jp>
 【紀の国わかやま国体・大会実行委員会】
 ユーザー名: @kiichan2015
 【紀の国わかやま国体・大会きいちゃん】
 ユーザー名: @kiichan_2015

紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会
文化プログラム

編集・発行
 紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会実行委員会事務局

〒640-8585 和歌山市小松原通 1-1
 和歌山県国体推進局総務企画課
 Tel.073-441-2955 Fax.073-427-5377

ホームページ
<http://www.wakayama2015.jp>

右記のQRコードから
 ホームページへ
 アクセスできます。



E-mail
wakayama2015@onyx.ocn.ne.jp

右記のQRコードから
 メール送信ページへ
 アクセスできます。



古紙パルプ配合率70%再生紙を使用



リサイクル適正
 この印刷物は、印刷用の紙へ
 リサイクルできます。

紀の国
 わかやま国体・大会
文化プログラム

和歌山の文化・芸術の発信

平成**27**年**9**月**1**日から平成**27**年**10**月**31**日まで



紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会を契機に、
 和歌山の文化・芸術を紹介する
 文化プログラム事業を県内各地で開催し、
 魅力ある和歌山の文化・芸術を全国に発信します。



わかやま スポーツ ミュージアム

入場無料

日時 2015
9/5 (SAT.) ▶ 10/27 (TUE.)
10:00-19:00 ※9月5日のみ10:30開場になります。

場所 フォルテワジマ3F
和歌山市本町2-1



018 WAKAYAMA SALONE 2015 (和歌山市)



026 紀の国わかやま国体・大会前夜祭
クラシックオーケストラコンサート
(和歌山市)



029 ポーランド国立
ワルシャワ室内歌劇場オペラ「魔笛」
(和歌山市)



075 丹生都比売神社 本殿特別拝観と収蔵庫特別公開(かつらぎ町)



- 014 わかやまスポーツミュージアム
- 野球コーナー
 - 大相撲コーナー
 - サッカーコーナー
 - 紀の国わかやま国体コーナー
 - 思い出の黒潮国体コーナー



092 顯國神社例祭(秋祭)(湯浅町)



114 土生祭り(土生神社秋祭り)(日高川町)



122 祝・紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会!
南方熊楠顕彰館・南方熊楠邸 無料招待(田辺市)



130 熊野速玉大社・熊野神宝館(新宮市)



124 第29回弁慶まつり(田辺市)
田辺市合併10周年記念

文化プログラムとは

国民体育大会は、広く国民の間にスポーツを普及することに併せ、地方スポーツの振興と地方文化の発展に寄与することを目的としています。本年は、和歌山県の文化・芸術を紹介する文化プログラム事業を県内各地で開催しますので、悠久の歴史と美しい自然のなかで、創造力ゆたかな和歌山県民がはぐくんできた多彩な文化・芸術をどうぞご覧ください。



013 全国スポーツ写真展(和歌山市)



127 第6回南紀白浜フラフェスティバル(白浜町)



142 北山観光筏下り(北山村)

トルコ共和国との強い絆

エルトゥールル号遭難事件について

1890年(明治23年)9月、親善使節団を乗せて来日していたオスマントルコ帝国の軍艦「エルトゥールル号」は帰国の途中、串本町大島榎野崎沖を航海していましたが、同海域において台風遭遇、猛烈な波浪と強風のために航行の自由を失い、次第に榎野崎に寄せられ、岩礁に激突。船体破損部から流入した海水が機関部の爆発を引き起こし、オスマン海軍少将以下587名が殉職、生存者わずかに69名という未曾有の海難事故となりました。

大島にたどり着いた生存者は数十メートルの断崖をはい上がり灯台守に助けを求めました。通報を受けた大島村(現串本町)の住民たちは、台風で漁に出れずに蓄えがわずかであったにもかかわらず、非常食や衣類を提供し、不眠不休で

生存者の救助、介護などに当たりました。こうした献身的な対応はトルコの人々に深い感銘を与えました。この出来事はトルコの人々の間で語り継がれており、日本とトルコの友好の歴史を話すときには必ずといっていいほど、エルトゥールル号遭難事件は語られます。125年を超える絆はこのように始まったのです。

受け継がれる交流と語り継がれる物語

エルトゥールル号遭難事件の翌年には、大島の人々を中心に慰霊祭が開かれました。その後途切れること無く交流は受け継がれ現在でも5年ごとにトルコ政府と串本町での合同慰霊祭が行われています。串本町では、トルコとの友好を深める取り組みがたくさん行われており、串本町立大島小学校では、慰霊碑の清掃を行うとともに50年以上前から受け継いでいる追悼歌を式典などで歌っています。また、2001年に設立された串本町トルコ文化協会では、民族舞踊の披露、トルコ料理やトルコ語講座などさまざまな文化交流活動を通して、友情を深めています。



イスタンブール停泊中のエルトゥールル号(提供:串本町)



トルコ建国の父「アタテュルク騎馬像」の前で民族舞踊を披露する串本町トルコ文化協会の皆さん(串本町)

映画『海難1890』公開間近!

エルトゥールル号遭難事件を題材にした日本・トルコ合作映画『海難1890』は、本年12月全国公開されます。乗組員と大島島民との交流を描く物語で、田中光敏監督のもと撮影され、出演は大島に住む医師・田村元貞(たむら・もとさだ)役を内野聖陽(うちの内・せいや)さん、エルトゥールル号の海軍機関大尉・ムスタファをトルコの人気俳優ケナン・エジェさん、ヒロインで田村のサポートを務める島民・ハル役を演じる忽那汐里(くつな・しおり)さんが演じます。また、約190人の島民の方もエキストラとして出演しています。

本編では、もう一つの物語として、1985年イラン・イラク戦争時のトルコ航空機による救出劇が取り上げられます。イ

ラクのサダム・フセイン大統領が『48時間後にイラン上空を飛行するすべての飛行機を無差別攻撃する』と宣言したため、トルコ政府が日本側の要請で航空機をイランのテヘランへ派遣し、取り残された215名の日本人を自国民より優先して救出してくれました。これはエルトゥールル号遭難事件を契機とする串本とトルコの友情の絆があったからこそ実現したことです。



(左から) 田中光敏監督、ケナン・エジェさん、内野聖陽さん、忽那汐里さん



串本ロケ中には、地元の方々が炊き出しでおもてなし

平成28年 NHK大河ドラマ「真田丸」放送決定

真田幸村と九度山 真田昌幸・幸村と和歌山のゆかりとは

九度山での蟄居生活へ

天下分け目の関ヶ原の戦いで西軍側についた真田昌幸・幸村親子は、石田三成率いる西軍が敗れたことにより、敗軍の将となる。処刑となってもおかしくなかったが、東軍側についていた幸村の兄信之とその義父本多忠勝の助命嘆願により流罪となった。当初は高野山への配流が予定されていたが、幸村は妻子を連れていたので当時女人禁制であった高野山に入れず、麓の九度山にて蟄居生活を送ることとなりました。



真田庵北門

昌幸・幸村の生活

九度山での生活は、信幸(昌幸の長子)からの仕送りもあって、それなりにゆとりのあるものだったようですが、幸村は34歳という武士として一番力を振るえるはずの時期に蟄居させられたことで、深夜まで兵書を読み、昌幸と問答を交わし、近隣の郷土と兵術や鉄砲の鍛錬を行って、来るべきときを待っていたと言われています。



真田庵本堂

九度山からの脱出

慶長19年10月徳川家康は、大坂城攻めを命じました。徳川家と豊臣家の対立が深まり、豊臣秀頼から招聘があった幸村は、失われた人生の輝きを取り戻す為、大坂へ向かうことを決意しました。幸村を要注意人物とみていた徳川方は警戒し、見張り役である真田屋敷の周辺村人に幸村が大坂に向かわないように注意を促した。一計を案じた幸村は村人を集め、日ごろのお礼として酒宴をもうけた。全員が酔いつぶれたのを見計らい、九度山を脱出。大坂城へ向い全ての知



真田まつり

略を賭けた戦いを大坂冬の陣の「真田丸」に求めました。幸村とふれあってきた村人も騙されたふりをして黙認したという説も残っており、元々豊臣恩顧の大名であった紀州藩主浅野長晟(ながあきら)も、村人をとがめることなく、追手を差向けることもなかったといえます。



高野山

平安時代の弘仁10年(819年)頃より弘法大師空海が修行の場として開いた高野山真言宗、日本仏教における聖地です。



天空の聖地「高野山」

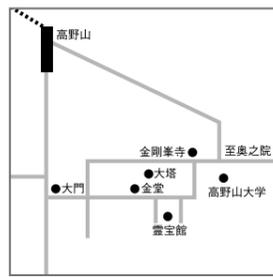
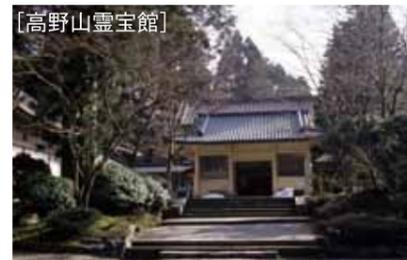
蓮華のように八葉の峰々に囲まれた山上の盆地に広がる高野山は、弘法大師・空海が開いた日本を代表する真言密教の聖地です。

弘法大使は、国、社会の安泰を祈り、人々のために活躍できる人材を育成し、ついには、生きとし生ける全てのものを永遠に救いたいとの強い願いから「入定」しました。

こうして弘法大師は生き続け、世の中の平和と人々の幸福を祈っているという大師信仰が生まれ、今も多くのの人々の信仰を集めています。

山内には、密教の世界観を表したと言われる「壇上伽藍」と、20万基を超える墓石が立ち並ぶ「奥之院」を中心に、117の塔頭寺院が点在しており、今もなお、町全体に大師の精神が行き渡っています。

高野山が1200年にわたり脈々と受け継いできたその精神性の深さに魅了され、日本のみならず、世界各地からも多くの参詣者が訪れています。



081 世界遺産高野山ツーデーマーチ

熊野古道



082 くまの古道歴史民族資料館 常設展

140 あげいん熊野詣

日本人の旅の始まり「熊野」

熊野は、その恵み豊かな自然に対する人々の畏敬が信仰となった自然崇拝を起源とし、日本特有の神仏習合の影響を受け、古代から近世にわたり、上皇や貴族のみならず庶民に至るまで、広く信仰を集めた聖地です。

平安末期に浄土信仰が庶民の間に広まると、身分の違いや男女を問わず、多くの人々が熊野を目指し、まるで列をなすように連なるその様子は「蟻の熊野詣」と形容されるようになりました。

この熊野へと続く参詣の道が熊野古道です。

熊野古道は、信仰の道としての姿を今も色濃く残しており、歩くことで、いにしえからの祈りの心をたどり、癒しを得ることができます。

日本の旅の始まりは巡礼であり、その起源は「熊野詣」であるといわれています。

かつて私達の祖先が旅にあこがれ熊野を目指したように、今も多くの「旅人」が熊野を訪れています。



「熊野古道」

華岡青洲 顕彰施設 青洲の里

世界初の全身麻酔を使った乳ガン摘出手術に成功した華岡青洲。その偉業を顕彰し、楽しく学べる施設として作られたのが青洲の里です。



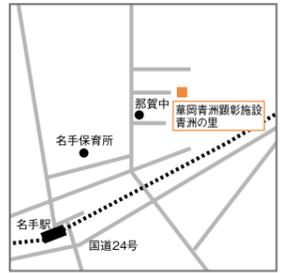
〒649-6604 紀の川市西野山 473 TEL.0736-75-6008
利用案内 9:00～17:00
【春林軒・展示室見学時間】
11月～2月 10:00～16:00、
3月～10月 10:00～17:00 (入館は16:30)
休館日/火曜(祝日の場合は翌日)、年末年始

顕彰施設のあゆみ

麻酔薬「通仙散(つうせんさん)」を発明し、青洲が作った住居兼診療所「春林軒」、建築家、故・黒川紀章氏の設計による蔓陀羅華(マンダラゲ)の花をモチーフにしたフラワーヒルミュージアム。ミュージアムには青洲の記録を展示した展示室、またレストランでは地元で生産された四季折々の食材を活用したお料理を、バイキング形式で楽しめます。

華岡青洲の生涯と医術

青洲は患者の治療に取り組むかわら、新しい治療法の研究や薬草採集、そして麻酔薬の研究に打ち込む日々を送りました。麻酔薬の研究を示す詳しい記録は残っていませんが、動物実験によって薬の効果と安全性を確認し、その後、人体実験では母「於継(おつぎ)」と妻「加恵(かえ)」が自分の体を使って麻酔薬を試してほしいと自ら申し出たので、青洲は母と妻に麻酔薬を飲ませ実験を行ったと伝えられています。文化元年(1804年)旧暦10月13日、青洲は完成した「通仙散(つうせんさん)」を使って、世界初の全身麻酔下の乳ガン摘出手術に成功しました。



- 052 劇団「華岡青洲」公演
- 053 青洲まつり

稲むらの火の館 濱口梧陵記念館 津波防災教育センター

梧陵六十六年の生涯をひもとき、ゆかりの空間の中で、偉大な功績や教訓、梧陵の人柄を感じさせるエピソードに出会えます。



〒643-0071 有田郡広川町広 671 TEL.0737-64-1760
開館時間 10:00～17:00 (月・火曜日休館)
(祝日の場合は開館)

095 稲むらの火祭り

濱口梧陵について

濱口梧陵は広村(現在の広川町)で分家濱口七右衛門の長男として生まれ、12歳の時に本家の養子となり、家業であるヤマサ醤油の事業を継ぎました。安政元年(1854年)、梧陵が帰郷していた時、大地震が発生し、紀伊半島を大津波が襲いました。梧陵は、稲むら(稲束を積み重ねたもの)に火を放ち、この火を目印に村人を誘導して、安全な場所に避難させました。津波による変わり果てた村を目にした梧陵は、復興のために被災者用の小屋の建設、農機具・漁業道具等の提供をはじめ、各方面において復旧作業にあたりました。長さ600m、高さ5mの防波堤の築造にも取り組み、後の津波による被害を最小限に抑えました。梧陵は、他の分野においても優れた才能を発揮しました。教育面では、江戸時代末期に濱口東江、岩崎明岳とともに、剣道や学業などの指導する「耐久社」と呼ばれる私塾を開設、変遷を経て現在の耐久高校になっています。

稲むらの火の館

梧陵の偉業と精神、教訓を学び受け継いでゆくため、2007年(平成19年)4月、濱口梧陵記念館と津波防災教育センターから成る「稲むらの火の館」が誕生しました。濱口梧陵記念館では、六十六年の生涯をひもとき、ゆかりの空間の中で、偉大な功績や教訓、人柄を感じさせてくれます。津波防災教育センターでは、防災精神や、「稲むらの火」の人命尊重の精神をふまえ、津波災害から大切な生命やくらしを守ることを学びます。



南方熊楠顕彰館・南方熊楠邸



〒646-0035 田辺市中屋敷町36 TEL.0739-26-9909
利用案内 10:00～17:00(最終入館 16:30)
(月曜日、第2・4火曜日休館。その他、臨時開館・休館日有り)

南方熊楠(1867-1941)は、博物学、宗教学、民俗学の分野における近代日本の先駆者的存在であり、同時に植物学、特に「隠花植物」と呼ばれていた菌類・変形菌類・地衣類・蘚苔類・藻類の日本における初期の代表的な研究者です。和歌山城下に生まれ、米英遊学後の明治37年から田辺に定住し、人生の半分、37年間を田辺で過ごしました。南方熊楠顕彰館は、南方熊楠邸の隣に建設され、熊楠が遺した蔵書・資料を恒久的に保存するとともに広く公開し、熊楠に関する研究を推進、情報発信しています。南方熊楠邸は、大正5年以降没するまでの25年間を過ごした場所で、この庭で新属新種の変形菌(粘菌)を発見するなど熊楠にとって大切な空間でした。顕彰館では、熊楠についての情報や学ぶ場を提供し、南方邸では熊楠の生活と研究の拠点であった場所、空間を実感していただくことができます。

- 117 第19回特別企画展 田辺湾の生物 田辺市合併10周年記念
- 120 南方熊楠顕彰館・南方熊楠邸 特別開館
- 122 祝・紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会! 南方熊楠顕彰館・南方熊楠邸無料招待
- 123 第42回月例展 寺石正路(予定) 田辺市合併10周年記念



和歌山県立近代美術館

所蔵品数は1万点を超え、郷土作家の紹介を中心とし、近現代の版画コレクションも充実。



〒640-8137 和歌山市吹上1-4-14
TEL.073-436-8690
開館時間 9:30～17:00 (入場は16:30まで)
(月曜日休館 祝休日の場合は開館して翌平日休館)

自然と共生

1963(昭和38)年に和歌山城内、1970(昭和45)年に県民文化会館に移転。1994(平成6)年7月には、現在の場所に新築移転。個性的な外観は、緑豊かな環境の中で和歌山城と美しいコントラストをなしています。正面には巨大な灯籠が建ち並び、特徴的な庇を数多く設けるなど、近代的な中にも日本の伝統を感じさせます。池や滝が配されている広々とした敷地には熊野古道をイメージした散策路がめぐらせ、ゆったりとくつろぎ、楽しんでもらえる場となっています。池の中には、天然記念物である根上がり松を背景にした野外ステージを設け、三年坂をへだてた和歌山城との歴史のつながり、熊野をイメージした自然とのつながりを念頭に置いた「共生の思想」(黒川紀章)が反映された施設です。

コレクション

和歌山県は川口軌外や野長瀬晩花など、近代美術史に足跡を残す数多くの優れた美術家を生んでいます。県ゆかりの作家の展覧会を開催しながら、郷土作家コレクションを充実させてきました。浜口陽三や田中恭吉、恩地孝四郎など、日本の近代版画史に足跡を残す作家が多く、1980年頃から近代・現代版画の収集・紹介に力を入れ、現在では国内でも屈指のコレクションを誇っています。



- 007 コレクション展 2015- 夏特集「くりかえしの美」
- 015 企画展「ここだけの日本画」
- 021 コレクション展 2015- 秋特集「生誕120年 逸見享」

和歌山県立博物館

常設展示室では3万年にわたる、きのくに—和歌山県の人々の生活と文化について展示しています。



〒640-8137 和歌山市吹上 1-4-14
TEL.073-436-8670
開館時間 9:30～17:00 (入場は16:30まで)
(月曜日休館 祝休日の場合は開館して翌平日休館)

博物館のあゆみ

和歌山県立博物館は、1963年に創設された県立美術館を前身に、1971年4月に和歌山県教育委員会所管に属する公立博物館として和歌山城二の丸跡に設立されました。その後1994年7月に、現在の和歌山城南側・和歌山大学教育学部跡地に移転し、県立近代美術館とともに新たに開館しています。

ユニバーサルデザイン化

県ゆかりの文化財及び博物館資料を、収集・保管・調査・展示し、その成果を一般に普及するための事業を行っています。館蔵資料の購入・受贈および寄託資料の受託による収集活動は、資料収集基本方針に基づき、高野・熊野信仰に関する資料をはじめ8項目の分野に関わる資料を収集。きのくに—和歌山県の3万年の歴史を紹介する常設展「きのくにの歩み—一人々の生活と文化—」と、県内の文化財や歴史を主題とした特別展(年間2本)・企画展(年間5～6本)を開催しています。平成22年から、県立和歌山工業高等学校と連携し3Dプリンターを活用したさわれる文化財レプリカ作りと、県立和歌山盲学校と連携した特殊な透明盛り上がり印刷による、さわって読む図録作りを行いました。さわれるレプリカとさわって読む図録は、だれもがさわって楽しみ、内容を平易に読み解ける様になっています。平成26年度バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰の、内閣総理大臣表彰も受賞しました。



- 010 企画展「わかやま城探検」
- 019 高野山開創1200年記念特別展「弘法大師と高野参詣」

和歌山県民文化会館

和歌山県における代表的なホールであり、多くの行事が執り行われています。



〒640-8269 和歌山市小松原通一丁目1番地
TEL.073-436-1331
午前9時～午後9時30分 年中無休
※ただし、年末年始(12月29日～翌年1月3日)は除く。

- 016 第2回「おとのわ」コンサート「世界へ～音のかけ橋」
- 023 スタインウェイを弾いてみよう
- 025 第43回和歌山県新人演奏会
- 026 紀の国わかやま国体・大会前夜祭 クラシックオーケストラコンサート
- 027 第10回和歌山県民俗芸能祭
- 028 ワンコインコンサート vol.5
- 029 ポーランド国立ワルシャワ室内歌劇場オペラ「魔笛」
- 033 親子でコンサートに行こう!!



紀の国わかやま国体・大会 文化プログラム開催MAP





和歌山市・海草エリア

和歌山市 001~038 海南市 039~044 紀美野町 045~046

001 和歌山城天守閣 常設展

期間 通年
会場 和歌山城天守閣
時間 9:00~17:30 (入場 17:00迄)
料金 大人 410円 小・中学生 200円
徳川御三家の居城として紀州徳川家政治の基を築いてきた和歌山城。その威容と壮大さは、往時の歴史を感じさせます。
【問】和歌山城整備企画課 ☎073-435-1044



002 茶室「紅松庵」でお抹茶体験

期間 通年
会場 和歌山公園・紅葉渓庭園内(和歌山城)
時間 9:00~16:30
料金 460円
木造銅板葺きの屋根が美しく映える茶室は、昭和49年に名着市民の故松下幸之助氏により寄贈されました。抹茶と菓子が楽しめます。
【問】和歌山城整備企画課 ☎073-435-1044



003 名勝西之丸庭園(紅葉渓庭園)及び御橋廊下見学

期間 通年
会場 名勝西之丸庭園及び御橋廊下
時間 9:00~17:00
料金 無料
紀州徳川家初代藩主頼宣築造と伝えられる城郭庭園屈指の名園で、昭和48年に復元整備され、昭和60年には国の名勝に指定。
【問】和歌山城整備企画課 ☎073-435-1044



004 和歌山公園動物園

期間 通年
会場 和歌山公園動物園(和歌山城)
時間 9:00~17:00
料金 無料
全国に3か所しかないお城の敷地内にある動物園。規模は小さいが無料で子供達に人気。鳥類20種76点、哺乳類13種28点を展示。
【問】和歌山城整備企画課 ☎073-435-1044



005 わかやまスポーツ伝承館 常設展

期間 通年
会場 わかやまスポーツ伝承館
時間 10:00~19:00 (入館 18:30迄)
料金 無料
県にゆかりのあるスポーツ選手のメダル・ユニフォーム等を紹介し、スポーツの文化や歴史を県民に伝えます。
【問】わかやまスポーツ伝承館 ☎073-423-2215



006 和歌山市立こども科学館

期間 通年 休館日(月)(祝日の場合は次の平日)
会場 和歌山市立こども科学館
時間 9:30~16:30
料金 高校生以上 300円 小・中学生 150円
(プラネタリウム別途観覧料必要)
子ども達の科学への興味と認識を深め、科学への夢を育てるための施設として開館。「見よう、ためよう、みんなの夢」をテーマに展示。
【問】和歌山市立こども科学館 ☎073-432-0002



007 県立近代美術館 コレクション展2015-夏特集「くりかえしの美」

期間 6月10日(水)~9月10日(木) 休館日(月)
会場 和歌山県立近代美術館
時間 9:30~17:00 (入館 16:30迄)
料金 一般 340円 大学生 230円
(大会関係者 一般 270円 大学生 180円)
美術館のコレクションを紹介すると共に、同じ形をくりかえすことによって、美しい表現を生み出している作品を紹介する。
【問】和歌山県立近代美術館 ☎073-436-8690



008 県立図書館 本でたどる和歌山のスポーツ

期間 7月1日(水)~10月31日(土) 休館日(月)
会場 和歌山県立図書館
時間 10:00~19:00 (土日祝 18:00迄)
料金 無料
県民の紀の国わかやま国体・わかやま大会への関心興味を高め、県外からの来館者に和歌山県をPRするため、資料や本等を展示。
【問】和歌山県立図書館 ☎073-436-9500



009 建築技師松田茂樹の仕事展 ~地震に耐え燃えない美しい建築物を~

期間 7月1日(水)~10月31日(土)
会場 常設展(和歌山県建築士会館) 移動展(和歌山駅コンコース)
時間 終日
料金 無料
県庁の設計基本計画を行った、松田茂樹氏が計画・設計検査・調査等で関わった建築物の写真パネル展示とスタンプラリーを実施。
【問】和歌山県建築士会和歌山市支部 ☎073-423-2562



010 県立博物館 企画展「わかやま城探検」

期間 7月18日(土)~9月6日(日) 休館日(月)
会場 和歌山県立博物館
時間 9:30~17:00 (入館 16:30迄)
料金 一般 280円 大学生 170円
(大会関係者 一般 220円 大学生 140円)
和歌山城と城下町が今日までたどってきた歴史を残された資料から子ども向けにわかりやすく紹介します。コーナー展「きのくにの古式捕鯨」も同時開催。
【問】和歌山県立博物館 ☎073-436-8670



011 「食百膳」「湯百楽」キャンペーン

期間 9月1日(火)~2月29日(月)
会場 和歌山市内各施設
時間 時間は各施設による
料金 料金は各施設による
「グルメ」と「温泉」をテーマに、和歌山ラーメンやご当地グルメ、温泉施設などをお得なクーポン付きのパンフレットで紹介。
【問】和歌山市観光協会 ☎073-435-8118



012 県立図書館 エントランスコンサート

期間 9月4日(金)
会場 和歌山県立図書館 メディア・アート・ホール前エントランス
時間 12:00~12:30
料金 無料
図書館2階エントランスで開催するプロピアニスト等によるランタイム時の無料演奏会。図書館の文化芸術発信を目指します。
【問】和歌山県立図書館 ☎073-436-9530



013 全国スポーツ写真展

期間 9月5日(土)~10月27日(火)
会場 フォルテレジマ3階
時間 10:00~19:00
料金 無料
毎年開催される「スポーツ」をテーマとした「全国スポーツ写真コンクール」の入賞作品を展示します。
【問】NPO 法人日本スポーツ芸術協会 ☎03-5923-7751



014 わかやまスポーツミュージアム

期間 9月5日(土)~10月27日(火)
会場 フォルテレジマ3階
時間 10:00~19:00
料金 無料
国体関連用品をはじめ、世界的なスポーツ大会のトロフィーや有名選手のユニフォームなどを一堂に展示。
【問】紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会実行委員会 ☎073-441-2955



015 県立近代美術館 企画展「ここだけの日本画」

期間 9月11日(金)~11月3日(火・祝) 休館日(月)
会場 和歌山県立近代美術館
時間 9:30~17:00 (入館 16:30迄)
料金 一般 510円 大学生 300円
(大会関係者 一般 410円 大学生 250円)
野長瀬晩花や釋田一穂ら、わが国の近現代美術に優れた足跡を残す郷土ゆかりの画家たちを中心に日本画の魅力を紹介する。
【問】和歌山県立近代美術館 ☎073-436-8690



016 第2回「おとのわ」コンサート 「世界へ~音のかけ橋」

期間 9月12日(土)
会場 和歌山県民文化会館 小ホール
時間 14:00~16:00 (入場 13:30~)
料金 前売り 2,000円 当日 2,500円
第一部 和歌山県の海外友好提携都市の民謡及び愛唱歌の演奏。第二部 和歌山県出身石桁真礼生作曲の民謡による室内オペラを上演。
【問】音楽ユニット「おとのわ」 ☎073-461-0386



017 わかふるコンサート万葉館お月見コンサート

期間 9月13日(日)
会場 万葉館
時間 19:00 開演
料金 無料
国指定文化財として名勝に指定された「和歌の浦」にある万葉館で秋の風を心地よく感じて頂く「お月見コンサート」を開催します。
【問】和歌山県民文化会館 ☎073-436-1331



018 WAKAYAMA SALONE 2015

期間 9月13日(日)~10月12日(月・祝)
会場 和歌山市・海南市・高野口町・高野山の9会場
時間 会場により異なります。
料金 1,000円
和歌山北部を中心に9会場で開催する芸術祭。アート、映画、音楽、デザインなど満載。旅しながら楽しめるアートイベントです。
【問】SoA WAKAYAMA SALONE 事務局 ☎090-6669-3510



019 県立博物館 高野山開創1200年記念特別展「弘法大師と高野参詣」

期間 9月19日(土)~11月1日(日) 休館日(月)
会場 和歌山県立博物館
時間 9:30~17:00 (入館 16:30迄)
料金 一般1,000円 大学生800円(大会関係者 一般800円 大学生 600円)
高野山開創1200年にあたり、弘法大師と高野山に対する信仰と参詣の移り変わりを明らかにし、高野参詣の歴史を紹介します。パネル展「捕鯨のまち・太地」も同時開催。
【問】和歌山県立博物館 ☎073-436-8670



020 県立紀伊風土記の丘 秋期特別展「紀伊の地、大いに震う」

期間 9月19日(土)~11月29日(日) 休館日(月) 月曜日が祝日の場合次の平日
会場 和歌山県立紀伊風土記の丘
時間 9:00~16:30 (入場 16:00迄)
料金 大人350円 大学生210円(大会関係者 大人 290円 大学生 160円)
(高校生以下・65歳以上・障害手帳お持ちの方・県内外留学生無料)
考古学の視点から南海地震の災害史や人々の地震観のうつりかわり、災害に対する備えなどを紹介する。
【問】和歌山県立紀伊風土記の丘 ☎073-471-6123



021 県立近代美術館 コレクション展 2015 秋特集「生涯120年 逸見享」

期間 9月19日(土)~12月6日(日) 休館日(月)
会場 和歌山県立近代美術館
時間 9:30~17:00 (入館 16:30迄)
料金 一般 340円 大学生 230円
(大会関係者 一般 270円 大学生 180円)
美術館のコレクションを紹介すると共に和歌山市生まれの版画家、逸見享(へんみたくし)の作品を紹介する。
【問】和歌山県立近代美術館 ☎073-436-8690



022 第3回紀州夢祭り

期間 9月20日(日)
会場 和歌山城西の丸広場・砂の丸広場
時間 10:00~17:00
料金 無料
20代の方で和歌山を盛り上げる大人の文化祭。職業体験、もの作り体験、和歌山の飲食・物産のブースなどで構成するイベントです。
【問】紀州夢まつり実行委員会 ☎073-472-6007



023 スタインウェイを弾いてみよう

期間 9月21日(月・祝)
会場 和歌山県民文化会館 大ホール
時間 11:00~20:00
料金 2,000円/時間
スタニスラフ・ブーニングが選定したスタインウェイピアノを気軽に演奏できます。是非、大ホールのステージで体験して下さい。
【問】和歌山県民文化会館 ☎073-436-1331



024 紀の国水中写真展

期間 9月22日(火・祝)~10月4日(日) 9月28日(月) 休館
会場 ギャラリー&カフェ AQUA
時間 10:00~17:00
料金 無料
世界遺産、大自然の恵み、豊富な観光資源をもつ和歌山県。そんな県内の海や川で、大勢の人が撮影した水中写真約100点を展示。
【問】ギャラリー&カフェ AQUA ☎073-463-4640



025 第43回和歌山県新人演奏会

期間 9月23日(水・祝)
会場 和歌山県民文化会館 大ホール
時間 13:00 開演
料金 1,000円
和歌山にゆかりのある優れた新進演奏家を広く皆様にご紹介するクラシック演奏会を開催します。
【問】和歌山県民文化会館 ☎073-436-1331



026 紀の国わかやま国体・大会前夜祭

期間 9月24日(木)・9月25日(金)
会場 和歌山県民文化会館 大ホール
時間 18:30~20:30
料金 大人 3,000円 小・中学生 2,000円
紀の国わかやま国体・大会の開催を応援し、ゲスト秋川雅史さんを迎え、向山精二指揮による記念オーケストラ演奏会。
【問】紀の国わかやま国体・大会前夜祭実行委員会(ハイパームージック) ☎073-451-8172



027 第10回和歌山県民俗芸能祭

期間 10月3日(土)
会場 和歌山県民文化会館 大ホール
時間 13:00 開演
料金 無料(整理券必要)
県民が長年育んできた伝統芸能を広く紹介する機会を提供し、和歌山県の文化遺産に理解を深めるイベントを開催します。
【問】和歌山県民文化会館 ☎073-436-1331



028 ワンコインコンサート vol.5

期間 10月3日(土)
会場 和歌山県民文化会館 小ホール
時間 14:00 開演
料金 500円
和歌山ゆかりの演奏家による、本格的クラシック演奏をワンコイン(500円)で気軽にお楽しみ頂けるコンサートを開催します。
【問】和歌山県民文化会館 ☎073-436-1331



029 ポーランド国立ワルシャワ室内歌劇場オペラ「魔笛」

期間 10月8日(木)
会場 和歌山県民文化会館 大ホール
時間 18:30 開演
料金 プレミア席 :12,000円 S席 :9,000円 A席 :7,000円 B席 5,000円 C席 3,000円 プレミア席とS席以外学生割引あり。
天才モーツァルトが残した最後のオペラ「魔笛」、大人気 冒険活劇をお楽しみください。
【問】和歌山県民文化会館 ☎073-436-1331



030 紀の国の女王伝説・現代に蘇る名草戸畔

期間 10月10日(土)
会場 和歌の浦 アート・キューブ
時間 昼の部 12:30開場 13:00開演 夕の部 16:30開場 17:00開演
料金 1,000円
第一部...「名草戸畔 古代紀国女王伝説」の著者 なかひらまの講演。第二部...劇団ZEROによる「名草姫」公演。
【問】劇団ZERO ☎090-1481-0941



031 第17回万葉薪能

期間 10月11日(日)
会場 片男波公園野外ステージ (雨天時は健康館アリーナ)
時間 16:00~19:00
料金 前売り:一般 3,000円 学生 1,000円/当日 500円UP
(大会関係者大人 2,000円 学生無料 ※当日券のみ)
白砂青松の景観・片男波海岸の夕日を背景に、一部では能のフクシヨツブ、二部では大蔵流狂言・蚊相撰と喜多流能・巻網を上演。
【問】NPO 法人和歌の浦万葉薪能の会 ☎090-1967-3084





032 フラメンコの祭典2015 in 和歌山ポルトヨーロッパ

期間 10月11日(日)、10月12日(月・祝)
 会場 和歌山マリーナシティポルトヨーロッパ
 時間 11:00~16:00
 料金 屋外無料(シアター 大人 2,000円、子ども 500円、大会関係者(大人) 1,000円(予定))
 フラメンコの踊りをポルトヨーロッパ「噴水広場」にて華やかに再現。シアターでは、迫力のフラメンコショーを情熱的に展開。
 【問】和歌山フラメンコ協会 ☎073-402-4331

033 親子でコンサートに行こう!!

期間 10月12日(月・祝)
 会場 和歌山県民文化会館 小ホール
 時間 ①13:00 開演 ②15:30 開演(1日2回公演)
 料金 一律 1,500円
 0歳から入場可能。乳幼児から大人まで、幅広く良質な音楽を聴いて頂けるコンサートを開催。親子みんなで素敵な音楽を楽しもう。
 【問】和歌山県民文化会館 ☎073-436-1331

034 第2回和歌山ハワイアンフラコンサート

期間 10月12日(月・祝)
 会場 和歌山市民会館 小ホール
 時間 13:00~16:00
 料金 無料
 和歌山ハワイアン・フラ協会の各教室・サークルによるフラダンスやタヒチアンダンスのコンサート。ハワイアンショップも出店。
 【問】和歌山ハワイアンフラ協会 ☎073-473-8122

035 和歌山城まちなかキャンドルイルミネーション・竹燈夜

期間 10月17日(土)~10月18日(日)
 会場 和歌山城内、和歌山城周辺、加太会場
 時間 18:00~21:00
 料金 無料 ※天守閣入場は有料
 竹とキャンドルを組み合わせて作った約8,000本の灯籠を並べ、和歌山城と周辺を幻想的な灯りで包む。秋の風物詩。
 【問】竹燈夜実行委員会事務局 ☎073-435-1234

036 和歌山公園菊花展

期間 10月19日(月)~11月15日(日)
 会場 和歌山公園(和歌山城)
 時間 9:00~17:00
 料金 無料
 和歌山市菊の会の会が丹精込めて育てた、約400鉢の菊花が和歌山公園の秋を彩ります。菊の育て方指南や、販売コーナーもあり。
 【問】和歌山城整備企画課 ☎073-435-1044

037 第15回マジックフェスティバル

期間 10月25日(日)
 会場 和歌山市民会館 大ホール
 時間 13:00~16:00
 料金 無料
 和歌山のアマチュアマジックグループ年1回の発表会です。和歌山市民文化まつりにマジックフェスティバルとして参加しています。
 【問】和歌山マジシャンズクラブ ☎073-452-8627

038 (一社)表千家同門会和歌山県支部設立60周年記念 紀州東照宮献茶式

期間 10月25日(日)
 会場 紀州東照宮、和歌山市民会館
 時間 10:00~15:00
 料金 献茶式出席は有料(事前申込必要)
 表千家御家元・而妙斎宗匠ご奉仕による献茶式を紀州東照宮にて開催。同時に拝服席で濃茶、和歌山市民会館で副席を催します。
 【問】表千家同門会和歌山県支部 ☎073-446-3208

039 紀州漆器伝統産業館 常設展

期間 通年 休館日(第2日曜日)
 会場 紀州漆器伝統産業館(うるわし館)
 時間 10:00~16:00
 料金 無料(蒔絵体験は有料)
 紀州漆器でつくられたお盆や重箱、アクセサリーなどのほか、製造工程に係るパネルを展示。工芸士の指導による蒔絵体験も実施。
 【問】紀州漆器協同組合 ☎073-482-0322

040 海南軽トラ市

期間 通年(毎月第2日曜日開催)
 会場 JR 海南駅西側広場
 時間 9:00~11:00(9月のみ8:30~10:30)
 料金 無料
 軽トラックまたは軽車両の荷台において、生産者が自ら農産物を販売する地元市。海南の食文化・生活文化を体験できます。
 【問】海南市役所まちづくり部産業振興課 ☎073-483-8464

041 海南市美術展

期間 10月3日(土)~10月11日(日)
 会場 海南保健福祉センター
 時間 9:00(初日) 12:00~17:00(最終日 15:00)
 料金 無料
 市民から応募のあった洋画、日本画、書道、写真、工芸・手芸品の5部門における作品を展示。
 【問】海南市役所生涯学習課文化振興係 ☎073-492-0143

042 みかん祭り

期間 10月11日(日)
 会場 橋本神社
 時間 13:00~15:00
 料金 無料
 みかんとお菓子の神様「田道間守」を奉る橋本神社のお祭り。みかんの豊作と商売繁盛を願い、みかんやお菓子が奉納されます。
 【問】橋本神社 ☎073-494-0083

043 泣き相撲

期間 10月11日(日)
 会場 山路王子神社
 時間 12:00~15:00
 料金 無料
 400年以上も前から続く伝統行事「泣き相撲(奉納花相撲)」。子どもの背中に土をつけると、病気になるなどの言い伝えがある。
 【問】山路王子神社 ☎073-494-0455

044 海南市下津町総合文化祭

期間 10月24日(土)~10月25日(日)
 会場 海南市民交流センター・持待体育館
 時間 10:00~16:30(最終日 16:00迄)
 料金 無料
 海南市下津地域における総合文化祭。各種団体による舞台発表、小学生の金管バンド演奏、各種芸術作品の展示が行われます。
 【問】海南市役所生涯学習課文化振興係 ☎073-492-0143

045 みさと天文台 常設展

期間 通年 休館日(月・火)
 会場 みさと天文台
 時間 13:00~(水)17:00(木)19:30(金)20:30
 料金 見学無料(観望会 有料)
 日本屈指の大型望遠鏡を使い、土星の環や月のクレーター、星雲・星団など日常では目にする事が出来ない「ほんまもん体験」。
 【問】みさと天文台 ☎073-498-0305

046 ミシオン・セラミカ

期間 7月19日(土)~9月27日(日)の土日祝開催
 会場 主会場ギャラリー・ハチ
 時間 11:00~17:00
 料金 無料
 2008年より日本・スペイン両国で始まった「現代陶芸」をテーマとするアートプロジェクトです。交流芸術祭を国体と連携し開催。
 【問】銀聲舎(ぎんせいしゃ) ☎070-5500-9003

那賀エリア

紀の川市 047~053 岩出市 054~059



047 旧南丘家住宅 常設展示

期間 通年
 会場 旧南丘家住宅
 時間 10:00~16:00(要予約)
 料金 無料
 江戸末期の紀州藩鷹狩り役人の「村川住郎齋」の住宅。主屋は紀の川市の文化財に指定されており、離れは鷹狩りについて展示。
 【問】紀の川市教育委員会 生涯学習課 ☎0736-77-2511

048 名手宿本陣 常設展示

期間 通年 休館日(火)
 会場 名手宿本陣
 時間 10:00~16:00
 料金 無料
 華岡青洲の妻、加恵の実家としても知られ、主屋、座敷部が保存。国指定重要文化財・国指定史跡。別称「名手本陣味背家住宅」。
 【問】紀の川市教育委員会 生涯学習課 ☎0736-77-2511

049 紀伊国分寺跡歴史公園・歴史民俗資料館常設展

期間 通年 休館日(月・火)
 会場 史跡紀伊国分寺跡歴史公園
 時間 9:00~16:00
 料金 無料
 国指定紀伊国分寺跡を利用した史跡公園。保存修理を行った本堂と復元造成した講堂跡基壇が歴史を物語る。歴史民俗資料館を併設。
 【問】紀の川市教育委員会 生涯学習課 ☎0736-77-2511

050 紀の川市メイヤーズカップ2015

期間 9月又は10月の土日2日間(予定)
 会場 紀の川竹房橋河川敷
 時間 8:15~18:00
 料金 見学無料(参加は有料)
 紀の川フライトパークに、全国の愛好家が集合。スカイスポーツと紀の川流域の活性化・更なる発展を願って実施される競技です。
 【問】フライトイン紀の川実行委員会 ☎0736-77-7088

051 三船神社秋祭り

期間 10月18日(日)
 会場 三船神社及び古宮
 時間 10:00~16:00
 料金 無料
 「三船踊り」「虎松踊り」が奉納されるなど市の無形民俗文化財。国の重要文化財指定の建物3棟は檜皮葺きの屋根と極彩色で華麗。
 【問】三船神社 ☎0736-66-1620

052 劇団「華岡青洲」公演

期間 10月下旬の日曜日(予定)
 会場 青洲の里、旧名手本陣など(未定)
 時間 9:30~
 料金 無料
 有吉性和子原作・オリジナル脚本による「華岡青洲の妻」の公演。世界で初めて乳歯の手術をした青洲の人となりを観劇ください。
 【問】紀の川市教育委員会 生涯学習課 ☎0736-77-2511

053 青洲まつり

期間 11月1日(日)
 会場 青洲の里、旧名手本陣など
 時間 9:30~
 料金 無料
 医聖・華岡青洲の偉業を称え後世に継承していく祭り。演劇・時代行列、うまいもん横丁などの各種イベントを開催。
 【問】青洲まつり実行委員会 ☎0736-77-2511

054 岩出市民俗資料館 常設展示

期間 通年 休館日(火)
 会場 岩出市民俗資料館
 時間 9:00~17:00(入場 16:30迄)
 料金 無料
 「岩出市の風土と暮らしの移り変わり」を基本的なテーマとして、岩出の自然環境と歴史的・文化的独自性を演出した展示。
 【問】岩出市民俗資料館 ☎0736-63-1499

055 緑花センター 秋の盆栽展

期間 10月2日(金)~10月4日(日) 休園(火)
 会場 和歌山県植物公園 緑花センター
 時間 9:00~17:00(最終日 16:30迄)
 料金 高校生以上 250円 小・中学生 100円
 花と緑がいっぱいで自然の美しさが楽しめる憩いの場所です。県内にて活動を行う緑風盆栽会の協力を得て、盆栽の展示を行います。
 【問】和歌山県植物公園 緑花センター ☎0736-62-4029

056 大宮祭(よみさし祭)

期間 10月3日(土)
 会場 大宮神社
 時間 14:30~(昼の部) 23:30~(夜の部)
 料金 無料
 午後には神社で舞が奉納される。深夜0時には白装束の主神や氏子が東西御旅所に分かれて進み、村境に神を立てる神事が行われる。
 【問】大宮神社 ☎0736-62-2433

057 緑花センター 山草展

期間 10月3日(土)~10月4日(日) 休園(火)
 会場 和歌山県植物公園 緑花センター
 時間 9:00~17:00(最終日 16:30迄)
 料金 高校生以上 250円 小・中学生 100円
 花と緑がいっぱいで自然の美しさが楽しめる憩いの場所です。県内にて活動を行う和歌山山草会の協力で、秋の山草の展示を開催。
 【問】和歌山県植物公園 緑花センター ☎0736-62-4029

058 緑花センター 小品盆栽展

期間 10月10日(土)~10月12日(月・祝) 休園(火)
 会場 和歌山県植物公園 緑花センター
 時間 9:00~17:00(最終日 16:30迄)
 料金 高校生以上 250円 小・中学生 100円
 県内にて活動の(公)全日本小品盆栽協会和歌山支部「樹会」の協力を得て、盆栽の展示を行います。園内には花と緑が一杯です。
 【問】和歌山県植物公園 緑花センター ☎0736-62-4029

059 緑花センター 森のキノコ展

期間 10月24日(土)~10月25日(日) 休園(火)
 会場 和歌山県植物公園 緑花センター
 時間 9:00~17:00(最終日 16:30迄)
 料金 高校生以上 250円 小・中学生 100円
 花と緑がいっぱいで自然の美しさが楽しめる憩いの場所です。県内で活動する木の子クラブ和歌山の協力で野生キノコの展示を開催。
 【問】和歌山県植物公園 緑花センター ☎0736-62-4029

伊都エリア

橋本市 060~073 かつらぎ町 074~075 九度山町 076~080 高野町 081

060 パイル織物資料館 常設展

期間 通年 休館日(土・日・祝)
 会場 パイル織物資料館
 時間 事前予約必要
 料金 見学無料・体験有料
 パイル織物や再織の作業工程、天皇陛下に献上された再織を展示。約2時間の再織体験もできます。
 【問】パイル織物資料館 ☎0736-42-3113

061 橋本市郷土資料館 常設展

期間 通年 休館日(月)
 会場 橋本市郷土資料館
 時間 9:00~17:00
 料金 無料
 衣食住や生業・信仰・年中行事などの民族資料、仏像・仏画などの仏教芸術及び橋本市先人の偉業などの資料を展示紹介。
 【問】橋本市郷土資料館 ☎0736-32-4685



062 あさもよし歴史館 常設展

期間 通年 休館日(月)
会場 あさもよし歴史館
時間 9:00~17:00
料金 無料

縄文や弥生時代の土器、白鳳時代の名古曾、神野々の両廃寺の瓦などを展示。そのほか、企画展、体験学習、歴史講座等を開催。

【問】あさもよし歴史館 ☎0736-33-0211



070 高野口地区公民館文化祭

期間 10月24日(土)~10月25日(日)
会場 橋本市産業文化会館アザレア
時間 9:00~12:00(10月25日は 17:00迄)
料金 無料

高野口地区公民館で活動しているサークル・団体の年一回の発表の場です。コーラス・ダンスなどの舞台発表、絵画・書などの展示。

【問】高野口地区公民館 ☎0736-33-3111



063 前田邸 常設展

期間 通年(日曜日のみ開館)
会場 前田邸
時間 10:00~15:00
料金 無料

旧大和街道沿いに江戸時代に建てられた商家の邸宅。「坂の上の雲」の乃木將軍直筆と伝えられる漢詩や明治~昭和の収蔵品を展示。

【問】橋本市観光協会 ☎0736-33-3552



071 橋本市ふる里よいとこ探し ナチュラルブレイク

期間 10月25日(日)
会場 杉村公園
時間 10:00~15:00
料金 無料

橋本市杉村公園の自然の中で、音楽会の開催や環境保全の啓蒙を行う地域の文化イベント。

【問】ふる里よいとこ探しナチュラルブレイク実行委員会 ☎0736-37-2302



064 利生護国寺(国指定重要文化財)

期間 通年
会場 利生護国寺
時間 8:00~17:00
料金 境内無料

聖武天皇が行基に命じて建てた朱柱が映える美しい寺院。荘厳な本堂は国指定の重要文化財。2年に一度、「大茶盛」が催される。

【問】利生護国寺 ☎0736-32-2123



072 橋本市民菊花展

期間 10月下旬~11月上旬(予定)
会場 杉村公園
時間 9:00~16:00(予定)
料金 無料

県下最大の菊の展覧会。市内外を問わず、菊愛好家をはじめ小学校からの出展もある毎年恒例の展覧会。

【問】橋本市観光協会 ☎0736-32-3552



065 アザレア映画鑑賞会

期間 通年(6~8回程度)
会場 橋本市産業文化会館アザレア
時間 (未定)
料金 有料(500円~700円)

年間6~8回程度開催される映画鑑賞会。ワンコイン(500円)で2本見ることができる優秀映画鑑賞会なども開催。

【問】橋本市産業文化会館アザレア ☎0736-42-5070



073 中将姫旧跡ラブリーウォーク

期間 10月~11月
会場 市内各コース
時間 (未定)
料金 無料

恋野地区で、中将姫伝説にまつわる史跡を巡るウォーキング。糸の懸け橋、雲雀山の碑、中将倉、中将が森、念仏寺等を回ります。

【問】恋野地区公民館 ☎0736-33-2458



066 光三宝荒神社の献灯祭

期間 9月3日(木)
会場 光三宝荒神社
時間 18:00~20:30
料金 無料

日本三大荒神の一つとされる光三宝荒神社で行われる献灯祭。境内に約2万本の蠟燭と灯籠に火が灯され、幻想的な雰囲気演出。

【問】光三宝荒神社 ☎0736-32-7484



074 小原洞窟恐竜ランド(小原鉱山跡洞窟体験)

期間 通年(10月~2月は木曜日休館)
会場 小原洞窟恐竜ランド
時間 9:00~17:00
料金 高校生以上800円 4歳以上中学生迄500円

迷路のような洞窟を体験できる「洞窟ラビリンス」。突然現れる恐竜の大声や照明で太古の昔にタイムトリップ。

【問】小原洞窟恐竜ランド ☎0737-26-0836



067 隅田八幡神社の秋祭り

期間 10月10日(土)~10月11日(日)
会場 隅田八幡神社周辺
時間 10月10日14:30~ 10月11日11:00~
料金 無料

県指定無形民俗文化財・プレミアム和歌山観光資産認定のお祭り。祭典の後、大人約100人が担ぐだんじりの宮入り、渡御が見所。

【問】隅田八幡神社 ☎0736-32-0188



075 丹生都比売神社 本殿特別拝観と収蔵庫特別公開

期間 9月19日(土)~11月29日(日)の土日祝
会場 丹生都比売神社
時間 11:30~、14:30~(所要時間約40分)
料金 1,000円

非公開の本殿の特別拝観と収蔵庫の特別公開を行います。他行事のため実施できない回もありますので、事前にお問い合わせください。

【問】丹生都比売神社 ☎0736-26-0102



068 橋本だんじりまつり

期間 10月10日(土)~10月11日(日)
会場 橋本市各地、JR・南海橋本駅前、市民会館前
時間 10月10日14:00~ 10月11日12:00~
料金 無料

県指定文化財に登録された舟楽車を始め、市内11地区のだんじりが市役所周辺に集結。演奏やパレードが行われ、見物客で賑わう。

【問】橋本だんじり協議会 ☎0736-32-0247



076 紙遊苑企画展「アサガオ展」

期間 7月24日(金)~9月6日(日) 休館日(月・火)
会場 紀州高野紙伝承体験資料館紙遊苑
時間 9:00~16:30
料金 無料

奈良時代から平安時代にかけて、空海など遣唐使が薬として種を持ち帰ったのが始まりとされる朝顔。180町石にちなみ180本展示。

【問】九度山町教育委員会 社会教育課 ☎0736-54-2019



069 橋本市歩行者天国

期間 10月11日(日)
会場 JR高野口駅前大通り
時間 11:30~16:00
料金 無料

高野口駅前大通りが歩行者天国に。露店やフリマ、特設ステージではやっちゃん踊りや和太鼓の演奏等、楽しい催し物が一杯です。

【問】高野口地区公民館 ☎0736-33-3111



077 九度山百景絵画展(第一部)

期間 10月1日(木)~10月13日(火)
会場 九度山町ふるさとセンター
時間 8:30~22:00
料金 無料

九度山町ふるさとセンターにて、町内外から応募された作品を展示。テーマは、九度山町内の風景画。

【問】九度山町役場 産業振興課 ☎0736-54-2019



078 えびすのお渡り

期間 10月12日(月・祝)
会場 古沢巖島神社
時間 14:00~
料金 無料

えびす様が24人のお伴を従えて、舞楽を奉じて神殿に渡る神事。祭りのクライマックスに行われるえびす飛びは、一番の見どころ。

【問】九度山町観光協会(九度山町産業振興課内) ☎0736-54-2019
古沢巖島神社総代表 ☎0736-54-2723



085 箕島漁港とれぴち朝市

期間 通年(土曜日開催予定、不定期開催)
会場 箕島漁港内
時間 9:00~12:00
料金 入場無料

辰ヶ浜をはじめ市内の漁港で水揚げされたとれぴちな魚を販売。威勢のいい漁師とのやりとりも魅力のひとつ。

【問】有田市役所産業振興課 ☎0737-83-1111



079 九度山百景絵画展(第二部)

期間 10月15日(木)~10月25日(日) 休館日(月・火)
会場 松山常次郎記念館
時間 10:00~16:30
料金 200円(小・中学生 100円)

松山常次郎記念館にて、町内の風景をテーマとした絵画を展示。併せて、入賞者の表彰式も実施。

【問】九度山町役場 産業振興課 ☎0736-54-2019



086 宮原神社秋祭

期間 10月11日(日)
会場 宮原神社
時間 5:00~18:00
料金 無料

幼児から小学校低学年で構成される「子ども獅子舞」、大人 6人で構成される獅子舞「百足獅子」、雅楽の生演奏や巫女舞が特徴。

【問】宮原神社 ☎0737-88-2708



080 丹生官省符祭り

期間 10月25日(日)
会場 丹生官省符神社
時間 10:00~
料金 無料

年催物に趣向を凝らし、見学していただける祭りです。舞の奉納、社中の踊り、神輿のお渡りなどが行われます。

【問】丹生官省符神社 ☎0736-54-2754



087 糸我稲荷神社秋祭

期間 10月12日(月・祝)
会場 糸我稲荷神社
時間 9:00~
料金 無料

「日本最古のお稲荷さん」と伝えられ、御輿の渡御が室町時代より続く神社の秋祭り。獅子舞に特徴がある神楽が見所です。

【問】糸我稲荷神社 ☎0737-88-7093



081 世界遺産高野山ツデーマーチ

期間 10月24日(土)~10月25日(日)
会場 高野山大学(メイン会場)
時間 7:00~17:00
料金 事前申込:大人1,500円 高校・大学生 800円
当日申込:大人2,000円 高校・大学生 1,000円

大人から子どもまでハイキング感覚で秋を楽しむウォーキング大会。世界遺産「高野山町石道」のほか、各種コースを設定。

【問】ツデーマーチ実行委員会 ☎0736-56-2076



088 須佐神社秋祭

期間 10月14日(水)
会場 須佐神社
時間 10:00~
料金 無料

神前に供えられた6枚の鯛を奪い合う様を「けんか祭」と呼び、鯛を手にする一年間五穀豊稔に恵まれるといわれています。

【問】須佐神社 ☎0737-83-0195



有田エリア

有田市 082~089 湯浅町 090~094 広川町 095~096 有田川町 097~099

082 くまの古道歴史民俗資料館 常設展

期間 通年 休館日(水・木)
会場 くまの古道歴史民俗資料館
時間 9:30~17:00(入館 16:30迄)
料金 無料

有田市の熊野古道に関する資料をわかりやすく展示。藤原定家の熊野御幸記や紀伊國名所図会、糸我峠の茶屋の様子を復元展示。

【問】有田市役所生涯学習課文化振興係 ☎0737-82-3221



090 國津神社例祭(秋祭)

期間 10月15日(木)
会場 國津神社
時間 13:00~17:00
料金 無料

神社には、鼻高面のオニ、鬼面のワニ、そして獅子頭の三面を持つ三面獅子舞が伝えられ、祭礼時に舞が奉納されます。

【問】國津神社 ☎0737-62-4388



083 有田市みかん資料館展示事業

期間 通年 休館日(火)
会場 有田市みかん資料館
時間 9:30~17:00(入館 16:30迄)
料金 無料

有田市の和歌山県内でも有数のみかん生産地です。みかんの歴史や柑橋標の生産高を模型やパネルでわかりやすく展示しています。

【問】有田市役所生涯学習課文化振興係 ☎0737-82-3221



091 幸神社例祭(秋祭)

期間 10月16日(金)
会場 幸神社
時間 13:00~17:00
料金 無料

國津神社、顯國神社の祭と共に、地元では秋祭と呼ばれ、神輿渡御、子どもたちによる三面獅子の獅子舞奉納が行われます。

【問】國津神社 ☎0737-62-4388



084 有田市郷土資料館 常設展・特別展事業

期間 常設展は通年、特別展は9月19日(土)~11月1日(日) ※休館日(火)
会場 有田市郷土資料館
時間 9:30~17:00(入館 16:30迄)
料金 入場無料

有田の歴史を常設展示。上記期間にて特別展「ありだのみたち」を開催。なお、9月8~18日及び11月2~10日まで臨時休館。

【問】有田市役所生涯学習課文化振興係 ☎0737-82-3221



092 顯國神社例祭(秋祭)

期間 10月18日(日)
会場 顯國神社
時間 13:00~17:00
料金 無料

顯國神社は、平安時代から続く1,200年もの歴史のある神社。秋祭では、県指定無形民俗文化財の三面獅子舞が奉納されます。

【問】顯國神社 ☎0737-62-2405





093 紀州湯浅の鯖と鮭まつり

期間 10月下旬の日曜日
 会場 湯浅湾漁業協同組合、湯浅水産物商業協同組合周辺
 時間 10:00~15:00
 料金 無料
 鯖と鮭グルメフェア、湯浅特産品フェアのほか、和太鼓演奏など芸術の秋を彩るイベントを開催。
 【問】鯖と鮭まつり実行委員会 ☎0737-63-2525

094 ゆあさ愛あいまつり

期間 10月31日(土)~11月1日(日)
 会場 湯浅スポーツセンター周辺
 時間 10:00~17:00
 料金 無料
 地域の方々の手作りで行われる福祉イベント。地域で活躍する様々な団体が参加し、文化祭、人権啓発講演会等が行われます。
 【問】ゆあさ愛あいまつり実行委員会 ☎0737-63-2525

095 稲むらの火祭り

期間 10月17日(土)
 会場 広川町役場~広八幡神社
 時間 16:00~19:30
 料金 無料
 津波の接近を稲東に火をつけ、住民に知らせ避難させた濱口梧陵の偉業を再現する「稲むらの火祭り行列」が見どころ。
 【問】広川町役場産業建設課 ☎0737-23-7764

096 ふるさとまつり

期間 10月31日(土)~11月1日(日)
 会場 広川町民体育館及びその周辺、多目的広場
 時間 10月31日 13:00~21:00
 11月1日 9:00~15:00
 料金 無料
 初日は文化展、二日目は文化展のほか、商工祭、健康まつり、太鼓、婦人会踊りなどのアトラクションを開催。
 【問】広川町教育委員会 ☎0737-23-7795

097 ちいさな駅美術館・絵本企画展

期間 通年 休館日(月)
 会場 ちいさな駅美術館 (JR 藤並駅2F)
 時間 10:00~19:00(土日祝 17:00迄)
 料金 無料
 毎月変わる有名絵本作家の原画を展示。所蔵絵本数は定番絵本から話題の絵本まで約2,000冊以上。
 【問】ちいさな駅美術館(Ponte del sogno) ☎0737-52-2580

098 地域交流センター(ALEC)企画展

期間 通年 休館日(月)
 会場 有田川町地域交流センター(ALEC)
 時間 10:00~19:00(土日祝 17:00迄)
 料金 無料
 常設歴史展に加え、季節の展示や生活に密着した展示を企画。図書館には、一般書約4万5千冊、まんが約3万5千冊を所蔵。
 【問】地域交流センター(ALEC) ☎0737-52-4730

099 有田川町鉄道交流館 常設展

期間 通年 休館日(水・木)
 会場 有田川町鉄道交流館
 時間 10:00~17:00
 料金 大人(高校生以上)200円
 子ども(小学生以上)100円
 有田鉄道をはじめとする鉄道に関する物品を常設展示。土・日・祝には、動態保存車両への「乗車体験」が可能。
 【問】有田川町鉄道交流館 ☎0737-52-8710

日高エリア

御坊市 100 美浜町 101~102 日高町 103 由良町 104~105
 印南町 106 みなべ町 107~110 日高川町 111~114

100 御坊祭

期間 10月4日(日)~10月5日(月)
 会場 小竹八幡神社他
 時間 8:00~
 料金 無料
 人を見たいけりや御坊祭と言われるほど御坊日高地方最大の祭。県無形文化財1号指定のけはん踊りは、ユーモア溢れる踊りを披露。
 【問】小竹八幡神社 ☎0738-22-0089

101 吉原祭(松原王子神社の秋季祭)

期間 10月17日(土)~10月18日(日)
 会場 松原王子神社他
 時間 10月17日 13:00~17:00 19:00~22:00
 10月18日 11:00~22:00
 料金 無料
 吉原東・西、新浜、田井の4地区から獅子舞や余興の四ツ太鼓などが出されます。本祭の夜(お旅所)までの御渡御が最大の見所。
 【問】美浜町教育委員会 教育課 ☎0738-22-7309

102 和田祭(御崎神社の秋季祭)

期間 10月24日(土)~10月25日(日)
 会場 御崎神社他
 時間 10月24日 15:00~17:00 19:00~21:00
 10月25日 10:00~20:30
 料金 無料
 獅子舞の奉納のほか、各地区から神輿、屋台、山車、四ツ太鼓が出されます。日高地方で一番の八反織りの旗差しも豪快。
 【問】美浜町教育委員会 教育課 ☎0738-22-7309

103 クエ・フェア

期間 10月17日(土)
 会場 産湯海水浴場
 時間 11:00~15:00(予定)
 料金 無料
 クエの解体ショー、重さあてクイズ、ライブショーなどイベント多数。有料でクエ鍋・クエ飯・クエ寿司が味わえる。
 【問】九絵の町づくり推進実行委員会 ☎0738-63-3611

104 衣奈祭

期間 10月10日(土)~10月11日(日)
 会場 衣奈馬場筋
 時間 9:00~16:00
 料金 無料
 各地区から神事や余興が奉納され、巫女舞や唐船を含む全体が、県指定無形民俗文化財。荒々しい漁村では珍しい、優雅なお祭り。
 【問】由良町教育委員会 教育課 ☎0738-65-1800

105 由良祭

期間 10月17日(土)~10月18日(日)
 会場 宇佐八幡神社
 時間 8:00~
 料金 無料
 日高地方最大級の屋形の競り合いなど、ダイナミックな祭。町内6区が獅子舞を奉納。横浜と阿土地区のそれは県指定無形民俗文化財。
 【問】由良町教育委員会 教育課 ☎0738-65-1800

106 印南祭

期間 10月2日(金)
 会場 山口八幡神社、印南八幡神社周辺
 時間 (未定)
 料金 無料
 同じ日に2つの八幡宮の祭りが同時に行われる熱くて激しい祭。各地区の屋台の競り合いや、獅子舞の奉納、お渡り等が見どころ。
 【問】印南町教育委員会 教育課 ☎0738-42-1700

107 須賀神社の秋祭り

期間 10月9日(金)
 会場 須賀神社
 時間 13:00~
 料金 無料
 林立する織旗のもとで、神輿渡御、山車、獅子舞などが厳かにとり行われる。目の前を勇壮に駆け抜ける馬駆けが、迫力満点の見所。
 【問】須賀神社 ☎0739-74-2204

108 東西岩代八幡神社の秋祭り

期間 10月11日(日)
 会場 東西岩代八幡神社
 時間 13:00~
 料金 無料
 小学校6年生以下の児童の子踊りが奉納されます。踊りの起源は農村歌舞伎から始まったとも伝えられ、県指定無形民俗文化財。
 【問】東岩代八幡神社 ☎0739-84-3023
 西岩代八幡神社 ☎0739-72-3355

109 鹿島神社の秋祭り

期間 10月18日(日)
 会場 鹿島神社周辺
 時間 13:00~
 料金 無料
 塩田の神輿、獅子舞、南道の奴行列、芝崎のふとん太鼓などによる祭礼。
 【問】鹿島神社 ☎0739-72-3355

110 高城天宝神社の秋祭り

期間 10月25日(日)
 会場 高城天宝神社
 時間 13:00~
 料金 無料
 子ども御輿が行われるほか、天狗のような面を被った「オニ」と獅子舞の奉納が最大の見所。
 【問】みなべ観光協会 ☎0739-72-4949

111 紀道まつり(紀道神社の秋祭り)

期間 10月11日(日)
 会場 紀道神社
 時間 11:00~16:00頃
 料金 無料
 「秋期例大祭」とも呼ばれる五穀豊穡を祈る感謝の祭り。巫女による雅楽、日高郡特有の頭屋獅子、駆け馬が見所。
 【問】日高川町観光協会 ☎0738-22-2041

112 長子祭り(長子神社の秋祭り)

期間 10月11日(日)
 会場 長子神社
 時間 10:00~15:00頃
 料金 無料
 五穀豊作への感謝の祭り。鬼獅子の練り込み、若者との喧嘩「鬼の追い出し」と「御旅所と輝りの馬場での獅子と鬼の舞」が見所。
 【問】日高川町観光協会 ☎0738-22-2041

113 笑い祭り(丹生神社秋祭り)

期間 10月11日(日)
 会場 丹生神社
 時間 8:00~17:00頃
 料金 無料
 「奇祭笑い祭り」としても有名で、先遣(鈴振り)が、道化た衣装と化粧で「笑い笑い」と練り歩きます。県指定無形民俗文化財。
 【問】日高川町観光協会 ☎0738-22-2041

114 土生祭り(土生神社秋祭り)

期間 10月18日(日)
 会場 土生神社
 時間 9:00~17:00頃
 料金 無料
 県無形民俗文化財に指定されている「双頭の獅子」は、笛や太鼓の楽曲などで、矛(ぼこ)と鉦(ささら)の発する気配のみで踊る。
 【問】日高川町観光協会 ☎0738-22-2041

西牟婁エリア

田辺市 115~126 白浜町 127~129

115 弁慶市

期間 通年(毎月第3日曜日開催)
 会場 聞鶏神社馬場
 時間 8:00~12:00
 料金 無料
 毎月1回第3日曜日に開催される田辺の名物朝市。約30店が軒を連ね、紀南の海の幸、山の幸など様々な地場産品が販売されます。
 【問】南紀みらい株式会社 ☎0739-25-8230

116 田辺のうまい昼ごはんあがら井

期間 通年
 会場 市内13店舗
 時間 店舗毎の営業時間
 料金 有料(各店舗料金によります。)
 「お昼も田辺らしい食事をしたい」との観光客の要望に応じてスタート。メニューは毎年更新。「あがら」は方言で私達の意味。
 【問】田辺観光協会 ☎0739-26-9929

117 第19回特別企画展田辺湾の生物 田辺市合併10周年記念

期間 7月18日(土)~9月13日(日) 休館日(月・第2第4火)
 会場 南方熊楠顕彰館・南方熊楠邸
 時間 10:00~17:00(入館 16:30迄)
 料金 顕彰館無料 熊楠邸(一般300円 高校・大学生200円 小・中学生100円)
 熊楠が「紀州田辺湾の生物」で貴重性を訴えた田辺湾の動植物に注目し、熊楠時代からの変遷や現代見られる動植物を紹介します。
 【問】南方熊楠顕彰館 ☎0739-26-9909

118 第31回紀南合唱祭

期間 9月6日(日)
 会場 紀南文化会館 大ホール
 時間 13:00 開演
 料金 無料
 紀南地方の中学校、高校、一般の合唱団体が一堂に会する演奏会。出演者、来場者が一体となり合唱を楽しむことができます。
 【問】田辺市教育委員会 文化振興課 ☎0739-26-9943

119 色彩が魅せる世界~油彩画・水彩画・近代日本画~ コレクションのあゆみⅡ

期間 9月19日(土)~11月8日(日)
 休館日(月)・9月24日(木)・10月13日(火)・11月4日(水)
 ※9月21日、10月12日は開館
 会場 田辺市立美術館、熊野古道なかへち美術館
 時間 10:00~17:00(入館 16:30迄)
 料金 400円(学生及び18歳未満無料)
 両館コレクションの中から近代の絵画に展開した色彩表現の魅力を紹介します。
 【問】田辺市立美術館 ☎0739-24-3770

120 南方熊楠顕彰館・南方熊楠邸 特別開館

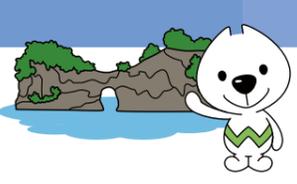
期間 9月21日(月・祝)
 会場 南方熊楠顕彰館・南方熊楠邸
 時間 10:00~17:00(入館 16:30迄)
 料金 顕彰館無料(熊楠邸は下記のとおり)
 月曜特別開館日。9月21日(月)敬老の日65歳以上無料。(一般300円 高校・大学生200円 小・中学生100円)
 【問】南方熊楠顕彰館 ☎0739-26-9909

121 第43回吹奏楽祭

期間 9月22日(火・祝)
 会場 紀南文化会館 大ホール
 時間 13:30 開演
 料金 無料
 紀南地方の中学校、高校、一般の吹奏楽団体が一堂に会する演奏会。それぞれの団体が息の合った演奏を見せます。
 【問】田辺市教育委員会 文化振興課 ☎0739-26-9943

122 祝・紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会! 南方熊楠顕彰館・南方熊楠邸無料招待

期間 9月26日(土)~10月6日(火)
 会場 南方熊楠顕彰館・南方熊楠邸
 時間 9:00~17:00(入館 16:30迄)
 料金 顕彰館無料 熊楠邸(一般300円 高校・大学生200円 小・中学生100円)
 紀の国わかやま国体・大会の開催を記念して、田辺市での国体開催期間中、大会参加者などを対象に観覧料を無料とします。
 【問】南方熊楠顕彰館 ☎0739-26-9909



123 第42回月例展 寺石正路(予定) 田辺市合併10周年記念

期間 10月3日(土)~11月1日(日)(予定) 休館日(月・第2,第4火)
 会場 南方熊楠顕彰館・南方熊楠邸
 時間 10:00~17:00 (入館 16:30迄)
 料金 顕彰館無料 熊楠邸(一般 300円 高校・大学生200円 小・中学生100円)
 東京大学予備門の同窓生で高知の郷土史家、寺石正路と熊楠翁の交流を紹介します。
 【問】南方熊楠顕彰館 ☎0739-26-9909

124 第29回弁慶まつり 田辺市合併10周年記念

期間 10月9日(金)~10月10日(土)
 会場 開闢神社・市内各所
 時間 初日 18:30~20:30 2日目 10:00~21:00
 料金 無料
 「武蔵坊弁慶・熊野水軍出陣800年祭」が弁慶まつりの始まり。演劇、弁慶伝説、弁慶が夕踊り、鬼若太鼓などのイベントを開催。
 【問】弁慶まつり実行委員会 ☎0739-22-5064

125 第62回田辺市美術展覧会

期間 10月9日(金)~11日(日)、10月16日(金)~18日(日)
 会場 紀南文化会館
 時間 9:00~19:00(最終日 17:00迄)
 料金 無料
 田辺市を中心とする紀南地方を代表する美術展覧会。一期は洋画・写真・陶芸を、二期は書・彫塑・生花を展示。
 【問】田辺市教育委員会 文化振興課 ☎0739-26-9943

126 第47回田辺花火大会 田辺市合併10周年記念事業

期間 10月10日(土)
 会場 田辺扇ヶ浜
 時間 20:00~20:30
 料金 無料
 田辺湾を舞台に行われる花火大会。弁慶まつりと同時開催で祭りムード一色のフィナーレを飾る。約3,000発の花火が夜空を彩る。
 【問】田辺観光協会 ☎0739-26-9929

127 第6回南紀白浜フラフェスティバル

期間 9月5日(土)~9月6日(日)
 会場 白良浜海水浴場特設ステージ
 時間 18:00~21:00
 料金 無料
 全国のフラ愛好家の皆様へ。白良浜の美しいビーチに最高のステージを用意しています。2015年の夏の思い出にぜひ踊ってみませんか。
 【問】白浜観光協会 ☎0739-43-5511
 白浜温泉旅館協同組合 ☎0739-42-2215

128 京都大学白浜水族館 先着300名ポストカードプレゼント

期間 9月25日(金)~10月6日(火)
 会場 京都大学瀬戸臨海実験所 白浜水族館
 時間 9:00~17:00(入館 16:30迄)
 料金 高校生以上600円 小・中学生200円
 紀南に生息するカニ・ヒトデ・魚などの海洋生物約500種を展示。期間中、先着300名の大会関係者にポストカード1枚を進呈。
 【問】京都大学瀬戸臨海実験所 白浜水族館 ☎0739-42-3515

129 日出神社御船祭

期間 10月11日(日)~10月12日(月・祝)
 会場 日出神社
 時間 宵宮祭 17:30~ 本宮祭 10:20~
 料金 無料
 舟形みこ(御船)と子ども神輿、獅子舞が神社を出て、浜まで練り歩く。潮かけ神事後、御船を高々と持ち上げるのが一番の見せ場。
 【問】日出神社 ☎0739-52-3460

東牟婁エリア

新宮市 130~136 那智勝浦町 137~140 太地町 141 北山村 142
 串本町 143~145

130 熊野速玉大社 熊野神宝館

期間 通年
 会場 熊野速玉大社 神宝館
 時間 9:00~16:00
 料金 500円(高校生以下無料)
 神宝館は南紀州の正倉院と呼ばれ、熊野速玉大社に伝わる室町時代の時絵手箱(国宝)や彩絵槍扇(国宝)など1,200点もの神宝類を展示。
 【問】熊野速玉大社 ☎0735-22-2533

131 新宮市立歴史民俗資料館 常設展

期間 通年 休館日(月)
 会場 新宮市立歴史民俗資料館
 時間 9:00~17:00(入館 16:00迄)
 料金 高校生以上210円 小・中学生100円(土日は小・中・高校生無料)
 阿須賀神社の境内から発見された弥生~古墳時代の出土品、熊野三山信仰が栄えた平安~鎌倉~室町時代の日本有数の懸仏等を展示。
 【問】新宮市文化振興課 ☎0735-23-3368

132 新宮市立佐藤春夫記念館 常設展

期間 通年 休館日(月・祝日の翌日)
 会場 佐藤春夫記念館
 時間 9:00~17:00(入館 16:30迄)
 料金 高校生以上310円 小・中学生150円(土日は小・中・高校生無料)
 新宮市出身の作家、佐藤春夫の東京の邸宅を移築し、平成元年11月に記念館として開館。春夫の詩集、小説、絵画等の作品を展示。
 【問】新宮市文化振興課 ☎0735-23-3368

133 国の天然記念物 浮島の森

期間 通年
 会場 浮島の森
 時間 9:00~17:00
 料金 高校生以上100円 小・中学生50円
 島全体が沼の中に浮いている不思議な島。北方系と亜熱帯・熱帯系の植物が混生するという貴重な植物群落で、国の天然記念物に指定。
 【問】新宮市商工観光課観光係 ☎0735-23-3357

134 那智勝浦吹奏楽団 第20回記念定期演奏会

期間 9月6日(日)
 会場 新宮市民会館
 時間 18:30~20:30
 料金 大人500円 子ども300円
 吹奏楽の演奏会。舞台と客席が一体となった「楽しい音楽会」を創出します。
 【問】那智勝浦吹奏楽団 ☎0735-52-3795

135 平成27年度新宮秋まつり

期間 10月11日(日)、10月15日(木)
 会場 新宮市中央通り
 時間 10月11日 10:00~16:00 18:00~21:30
 10月15日 19:00~21:00
 料金 無料
 賑わいの創出と郷土愛の構築が目的の市民総出のお祭。初日は創作踊り、2日目は手踊り・子ども神輿、夜は賑やかなお祭り新宮節。
 【問】新宮市商工観光課観光係 ☎0735-23-3357

136 御船祭(熊野速玉大社例大祭)

期間 10月15日(木)~10月16日(金)
 会場 熊野川河川敷
 時間 10月15日午後~ 10月16日8:00~
 料金 無料
 15日には「神馬渡御式」、16日には美しい神幸船を先導する9隻の早船競漕による「神輿渡御式」が行われる。県指定無形民俗文化財。
 【問】熊野速玉大社 ☎0735-22-2533

137 勝浦漁港にぎわい広場

期間 4月5日(日)~10月25日(日)の毎週日曜日
 会場 勝浦漁港にぎわい広場朝市(勝浦漁港内)
 時間 8:00~11:00
 料金 無料
 日本有数の生鮮まぐろの水揚げを誇る勝浦漁港で実施される朝市。近くには、海・港を眺めながら利用できる足湯「海の湯」もあり。
 【問】那智勝浦町役場 観光産業課 ☎0735-52-0555

138 高芝の獅子舞

期間 9月19日(土)~9月20日(日)
 会場 高芝区民会館
 時間 宵宮 20:00~ 本宮 14:00~
 料金 無料
 260年以上の歴史を誇る勇壮と典雅を兼ね備えた伊勢流獅子舞(県指定無形民俗文化財)。祭典では、9つの獅子舞の演目を奉納。
 【問】那智勝浦町役場 観光産業課 ☎0735-52-0555

139 第21回読書マラソン大会

期間 10月1日(木)~12月27日(日)休館日(月・月末日)
 会場 那智勝浦町立図書館
 時間 9:00~17:30
 料金 無料
 期間中、10冊(うち1冊は、国体・大会開催にちなみスポーツ関連か和歌山関連の本が条件。)の本を読むと完走。認定証贈呈。
 【問】那智勝浦町立図書館 ☎0735-52-5955

140 あげいん熊野詣

期間 10月25日(日)
 会場 那智山
 時間 9:30~15:30
 料金 見学無料(イベント参加は高校生以上5,000円)
 平安中期から鎌倉時代の後半にかけて頻りに行われた熊野御幸を当時そのまま再現し、熊野古道を辿ります。
 【問】那智勝浦町観光協会 ☎0735-52-5311

141 在米太地人会創立100周年記念特別展

期間 9月1日(火)~10月31日(土)
 会場 太地町石垣記念館
 時間 9:30~16:30
 料金 無料
 在米太地人会創立100周年を記念して、戦前に海外に渡り新しい国の新しい町づくりに参加した紀南の人々に焦点を当てた特別展示。
 【問】太地町歴史資料室 ☎0735-59-2335

142 北山村観光筏下り

期間 5月~6月土日祝運行 7月~9月全日運行(木曜除く)
 会場 北山川
 時間 9:00~17:00 受付
 料金 大人 6,000円(8月のみ大人7,000円) 小学生3,000円
 木材の輸送方法として盛んだった筏下りを、観光向けに復活させ、激流北山川を筏に乗って下ります。プレミア和歌山観光遺産。
 【問】北山村観光センター ☎0735-49-2324

143 日米修交記念館 常設展示

期間 通年
 会場 日米修交記念館
 時間 9:00~17:00
 料金 入場料250円(小・中・高校生は120円)
 レディワシントン号とグレイス号の2隻のアメリカ商船が大島に上陸した当時の様子を解説したジオラマ写真、船の模型などを展示。
 【問】串本町産業課 ☎0735-62-0557

144 トルコ記念館 常設展示・トルコ軍艦遭難慰霊碑

期間 通年
 会場 トルコ記念館
 時間 9:00~17:00
 料金 入場料500円(小・中・高校生は250円)
 エルトゥールル号が大島沖で座礁した際、地元住民が救助・献身的な看護を行ったことが、日本とトルコの友好の始まりとなりその証として建設。
 【問】串本町産業課 ☎0735-62-0557

145 檜野埼灯台旧官舎 常設展示

期間 通年 開館日(土・日・祝)
 会場 檜野埼灯台旧官舎
 時間 9:00~17:00
 料金 入場料100円(小・中・高校生を除く)
 1890年、エルトゥールル号が遭難し、乗組員救出の舞台となった檜野埼灯台と官舎。2003年、国登録有形文化財に登録。
 【問】串本町産業課 ☎0735-62-0557



私たちは、紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会を応援しています

| | | | | | |
|-----------------|----------|-------------------------|----------------------------------|--------------------------|---|
| 国体 パートナー | LAWSON | 大塚製薬 | MS&AD 三井住友海上 | 大会 特別協賛 | DAIDO 大同生命 |
| | asics | Mizuno | SUNTORY | | |
| オフィシャル スポンサー | エバグリーン | オークワ | 銀行をこえる銀行へ 紀陽銀行 | SHIMA SEIKI | 中野BC株式会社 (Biochemical Creation) |
| | ぎのくに信用金庫 | 株式会社 湊組 | マツケン | JAグループ和歌山 | 新日鐵住金 NIPPON STEEL & SUMITOMO METAL |
| | NANKAI | NTT西日本 光・ひろがる。ひびきあう。 | 株式会社 はまだ -Paper Distribution- | NORITSU Face the NEXT | 浅川組 |
| | 漢洋建設株式会社 | 東燃ゼネラルグループ | daijokoku | 一般財団法人 和歌山環境保全公社 | MITSUBISHI ELECTRIC Changes for the Better |